

施設評価シート（一般）

029

（平成20年度事業）

施設名	伊部駅南ふるさと交流センター	問合先	担当課(室)	商工観光課
所在地	備前市伊部1681番地3	職・氏名	副参事 山台智子	
		電話	0869-64-1832	
建物建設費	39,861千円	財源	国県等補助金	千円
		市債・一般財源等	39,861千円	耐用年数

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市伊部駅南ふるさと交流センター設置条例			
総合計画上の位置付け	基本目標	04	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	基本施策	03	個性あふれる観光のまちづくり
	施策	01	観光	事務事業名	04	観光施設維持管理事業

対象	(この施設運営によりサービスを受けるのは誰か?) 観光客、市民		
目的	(この施設運営によってどのような状態を目指しているのか?) 市の伝統産業である備前焼などのふるさと情報を発信し、かつ、伊部駅南の史跡、窠跡などを訪れる観光客と地域住民との交流を促進することにより、地域の活性化、文化の発展向上及び市民福祉の増進を図ること		
施設内容 規模 料金体系	施設内容	規模	料金体系
	ふるさと交流センター: 鉄筋コンクリート造1階建 駐輪場:鉄骨造	延床面積 120㎡ 延床面積 146.68㎡	
管理運営方法	<input checked="" type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営	(指定管理者名 又は 一部委託の内容) 備前市観光協会	
類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	(施設名及び施設の概要) 備前片上駅、伊部駅	

経費	項目		平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.01人	80	0.01人	75	0.05人	506	人/千円
	臨時職員							人/千円	
費	指定管理料		700		700		700	千円	
	維持補修費		0		0		0	千円	
	物件費		0		0		0	千円	
	その他経費		1		1		1	千円	
	減価償却費		717		717		717	千円	
	合計		1,498		1,493		1,924	千円	
財源	特定財源	使用料	0		0		0	千円	
		その他	0		0		0	千円	
	一般財源		1,498		1,493		1,924	千円	
指定管理者の利用料金収入			(0)		(0)		(0)	千円	
年間利用者数			12,132		11,157		10,382	人	
利用者1人当たりコスト(一般財源)			123		134		185	円	
受益者負担率			0.0%		0.0%		0.0%	%	

稼働実績	平成20年度	伊部駅南ふるさと交流センター												(単位:日,人)
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	30	31	30	31	31	30	31	30	28	28	28	31	359
利用者数	889	1,051	831	912	903	727	969	969	728	753	741	909	10,382	

利用者数..利用者のカウントが無い場合、切符売上枚数を基礎数値とする

施設の受当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか?	判断理由	観光目的としての施設の利用は殆どなく、現実的には、伊部駅利用者への利便性を図るための施設となっており、その意味からの施設の必要性は薄れていない。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か?	判断理由	市が開設した責任上、市が運営せざるを得ない。
	施設を廃止した場合の市民生活への影響は?	判断理由	観光客の殆どは北口を利用しており、南口は地域住民の通勤、通学、買い物等での利用となっており、その重要性は高い。

施設の効率性	施設の利用状況は順調か?	判断理由	切符売り上げは年々減少しているが、通勤、通学、など定期券購入の利用者が多く、利用状況は順調であると判断できる。
	受益者負担は適正か?	判断理由	駅の改札が主であることから、受益者負担は求められない。
	類似施設との統合可能性はあるか?	判断理由	統合は不可能であるが、駅として機能しているものを「ふるさと交流センター」とすることに無理がある。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか?	判断理由	備前片上駅や伊里駅と同様に「駅舎」として一括委託した方が効率的である。

平成21年度の状況及び管理運営の改善案	平成21年度より指定管理料を見直し、指定管理者に赤字補填をさせて管理させることのないよう改善した。今後は、目的の見直しを進め、効率的な管理ができるよう改善すべきである。
---------------------	--

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成22年度から平成26年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容		今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	
	金額(千円)	金額(千円)		金額(千円)	金額(千円)

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由	目的の見直しができない場合は、現行の指定管理者制度で運営するべきである。
----	---	------	--------------------------------------